

製品名: CD160 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08236**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	CD160
別名	CD160; BY55; CD160 antigen; Natural killer cell receptor BY55; CD antigen CD160
遺伝子 ID	11126.0
SwissProt ID	O95971
免疫原	抗血清はヒト CD160 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

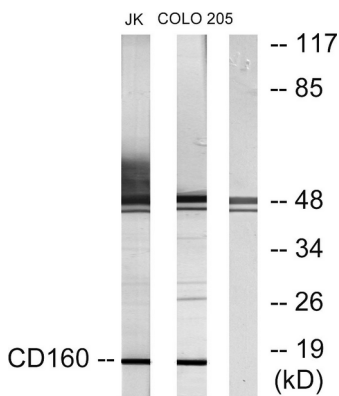
CD160 は 27 kDa の糖タンパク質で、モノクローナル抗体 BY55 によって初めて同定されました。その発現は、末梢血 NK 細胞および細胞傷害活性を示す CD8 T リンパ球と密接に関連しています。CD160 の cDNA 配列は、システインに富み、グリコシルホスファチジ

ルイノシトールアンカー型の181アミノ酸からなるタンパク質で、KIR2DL4分子と弱い相同性を示す単一のIg様ドメインを有しています。CD160は、細胞表面でジスルフィド結合した多量体として発現します。RNAプロット解析により、1.5 kb および 1.6 kb の CD160 mRNA が明らかになり、その発現は循環NK細胞およびT細胞、脾臓、小腸に極めて限定されていました。NK細胞内ではCD160はCD56dimCD16+細胞に発現するのに対し、循環T細胞内では主にTCRgd担持細胞とTCRab+CD8brightCD95+CD56+CD28-CD27-細胞に限定されています。組織内では、CD160は全ての腸管上皮内リンパ球に発現しています。機能：古典的および非古典的MHCクラスI分子の両方に広い特異性を示す受容体。類似性：Ig様V型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含む。サブユニット：ホモマルチマー；ジスルフィド結合。組織特異性：脾臓、末梢血、小腸に発現。発現は機能的NK細胞および細胞傷害性Tリンパ球に限定されています。

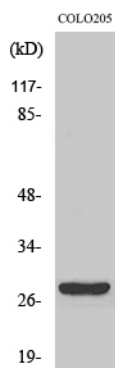
研究分野

-

画像データ



CD160抗体を用いたJurkat細胞およびCOLO205細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CD160ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析